



花菖蒲

滋賀県のCO₂ネットゼロ社会づくりについて

滋賀県総合企画部
CO₂ ネットゼロ推進課

1 はじめに

滋賀県では、2050年にCO₂排出量実質ゼロ（CO₂ ネットゼロ）を目指し、国に先立つ2020年1月に「しがCO₂ ネットゼロムーブメント」キックオフ宣言を行いました。脱炭素化に向けた世界的な潮流が加速化する中、2050年「CO₂ ネットゼロ」の実現に向けた取組を通じて、地域の持続的な発展をも実現する「CO₂ ネットゼロ社会づくり」を推進し、より豊かな滋賀を次の世代に引き継いでいくため、令和3年度に「滋賀県CO₂ ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」の制定と2030年度までを計画期間とする「滋賀県CO₂ ネットゼロ社会づくり推進計画」の策定を行いました。

2050年のCO₂ ネットゼロを実現するため、従来から進めてきたエネルギー消費量の削減（省エネ）と、再生可能エネルギーの導入の拡大をさらに推進していきます。また、温室効果ガス排出量の削減のみを目指すのではなく、3つの視点（持続可能、グリーン・リカバリー、地域循環）を重視し、地域や産業の持続的な発展にもつながる「CO₂ ネットゼロ社会」の実現を目指していきます（図1）。

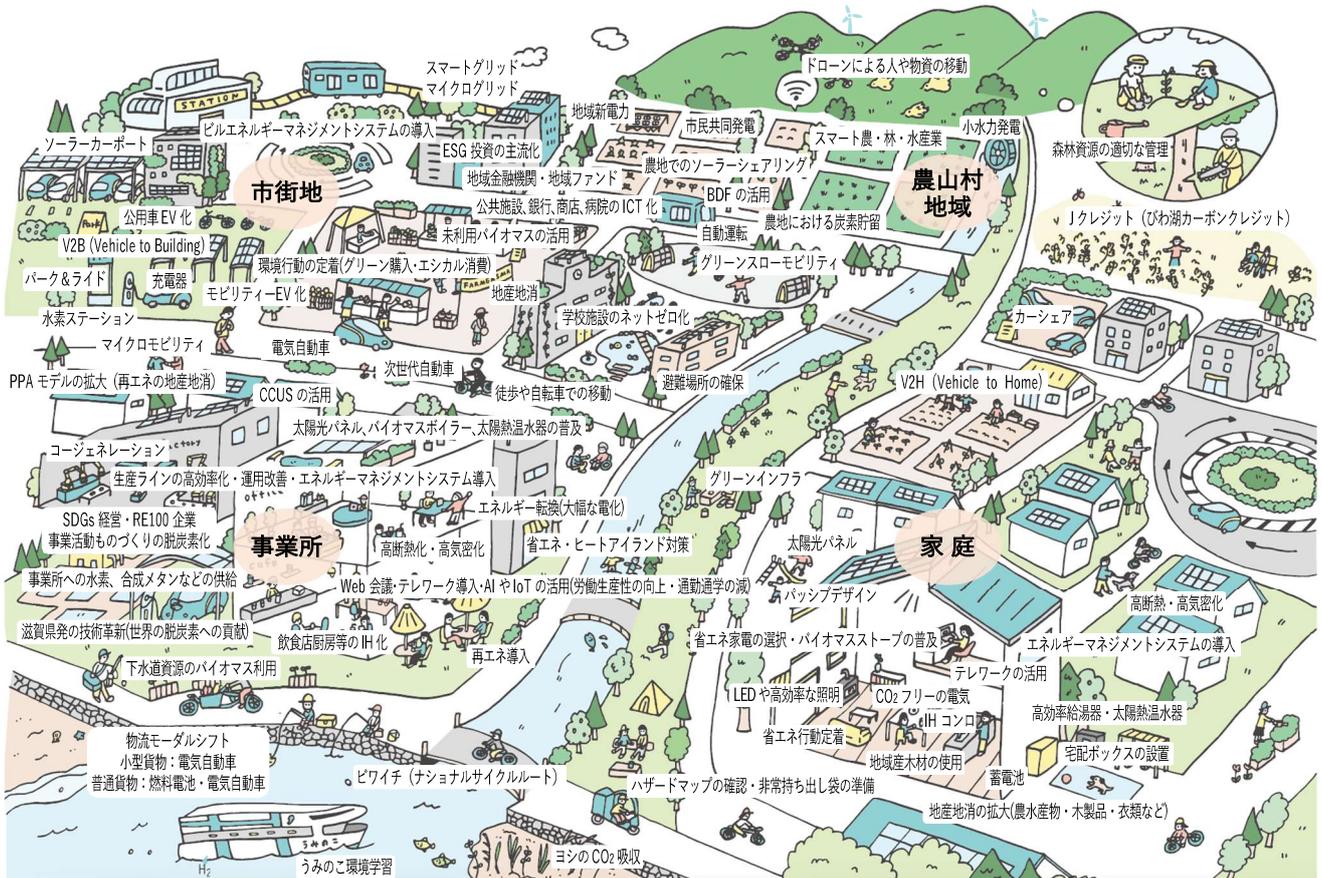


図1 2050年CO₂ ネットゼロを達成した滋賀県の姿

2 CO2 ネットゼロ社会づくりに向けた条例・計画の策定について

条例では、2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロとする目標を掲げるとともに、再生可能エネルギー等に加え、水素エネルギーの利用の取組、気候変動適応の取組も定めるなど、5つのポイントで改正を行いました（図2）。従来から実施している事業者行動計画書制度と自動車管理計画書制度を拡充するとともに、再生可能エネルギー由来電力の供給・調達を進めるため、再生可能エネルギー電気供給拡大計画書制度を新たに設けました。

- ① CO2 ネットゼロ社会づくり
- ② CO2 ネットゼロによる地域・経済の活性化
- ③ムーブメントの創出による取組の展開
- ④ 再生可能エネルギーの導入促進
- ⑤ 気候変動への適応

図2 条例改正のポイント

計画では、県域での温室効果ガス排出量削減の中期目標として、2030年度に2013年度比50%削減を、再生可能エネルギー導入目標として、2030年度に176.6万kWを掲げました（図3）。目標達成に向けて

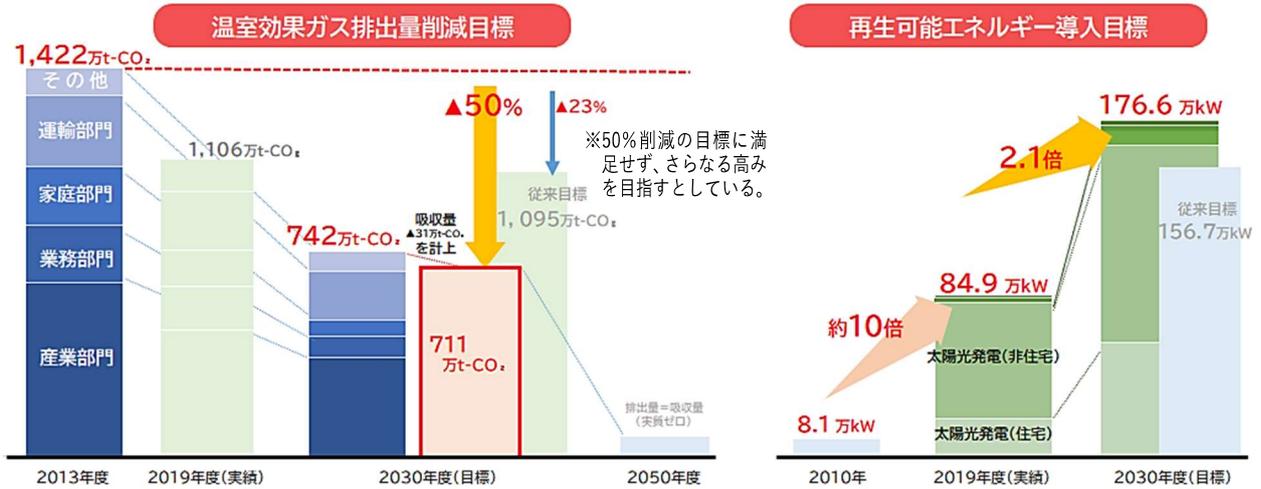


図3 2030年の中期目標

県民・事業者・行政が一丸となったムーブメントとして取組を進めるため、「CO2 ネットゼロにつながる快適なライフスタイルへの転換」、「新たな価値を生み出し競争力のある産業の創出」など、8つの柱を掲げています（図4）。この8つの柱に基づく取組を進めることにより、持続可能な「CO2 ネットゼロ社会」への転換を進め、次の世代に引き継いでいきたいと考えています。

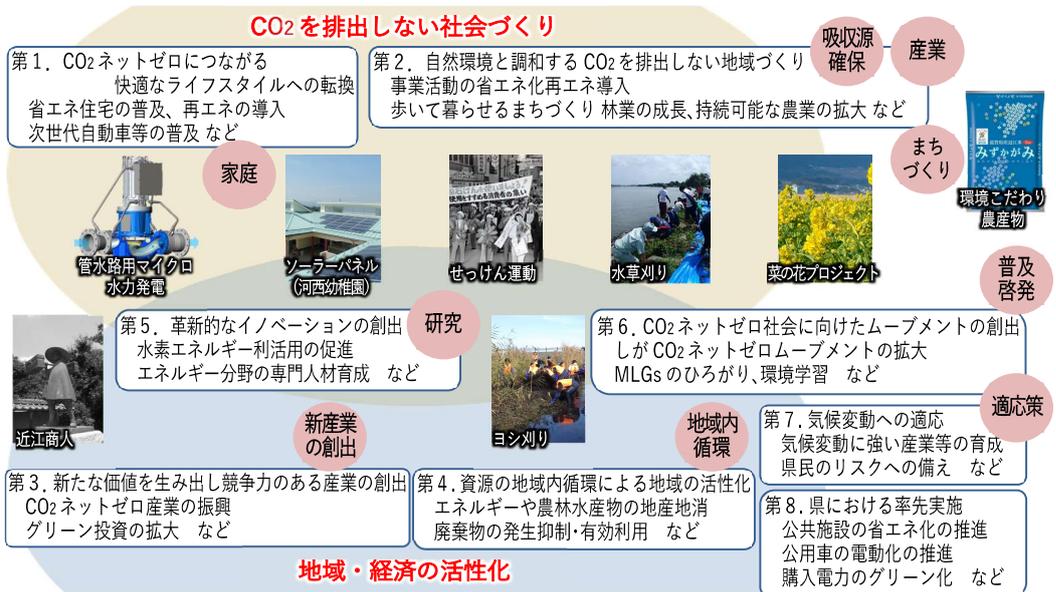


図4 CO2 ネットゼロの実現に向けた挑戦

3 CO2 ネットゼロ社会づくりに向けた取組

CO₂ ネットゼロ社会づくりの実現に向けては、県民・事業者の皆さまにCO₂ ネットゼロが浸透し、「自分ごと化」することで、一人ひとりの取組を拡大していきたいと考えています。そのため、県は個人・事業所におけるさらなる省エネルギー・再エネ導入のための支援、取組や温室効果ガス排出量の「見える化」などに取り組んでいきます。

(1) CO₂ ネットゼロに向けた支援

エネルギーを「減らす」「創る」「賢く使う」取組を進めるために、個人用既築住宅への対象設備導入における補助制度、個人・中小企業等による次世代自動車（EV、PHV、FCV）および充電インフラ設備購入に対する補助制度を実施します。また、事業者に対してはエネルギー管理士等の派遣による計画立案への支援と取組のフォローアップ、省エネ・再エネ設備導入等における補助制度も実施しています。

(2) CO₂ ネットゼロに向けた取組の「見える化」・ムーブメントの創出

令和3年度に県内での優れた取組を行った事業者・団体等の功績をたたえる「しがCO₂ ネットゼロみらい賞」を創設し、取組の水平展開を図っています。今年度は情報交換の場となるインターネットプラットフォームサイトの設立、フェスタの開催や次世代自動車普及イベントなども予定しています。また、CO₂ 排出量の削減や森林吸収源の確保（クレジットの創出）やオフセット商品等の開発（クレジットの活用）を促進する「びわ湖カーボンクレジット」の普及促進にも取り組んでいきます。

4 さいごに

脱炭素化に向けた世界的な潮流が加速化する中、こういった動きに早く対応することが自社の競争力の向上に貢献するとともに、プロセスの効率化や設備更新による光熱費・燃料費の削減、取組の紹介や自治体等の表彰対象、資金調達において金融機関の融資先選定基準への考慮などのメリットも期待されています。皆さまと一丸となって「CO₂ ネットゼロ社会づくり」を進めていければと考えています。琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境を守り、豪雨災害等に強い持続可能な社会を次世代に引き継ぐため、一緒に取り組んでいきましょう。



【令和3年度受賞者】
 『先進導入・実践部門』
 アストラゼナカ株式会社 米原工場
 伊陸ロジスティクス株式会社
 『製品・サービス部門』
 川重冷熱工業株式会社 滋賀工場
 HIJ株式会社
 『地域づくり部門』
 近江八幡市桐原学区協働まちづくり協議会

「しがCO₂ ネットゼロムーブメント」のご賛同者募集

2050年までに滋賀県内の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指して、県内での機運を高めて取り組んでいくために、この取組への賛同者の募集も行っています。この取組の趣旨に賛同いただき、一緒に取り組んでいきましょう。



本記事は、2022年1月29日開催のおつ市民環境塾⑧「滋賀県のCO₂ ネットゼロ社会づくりを考える」で紹介した内容に新情報を加え再構成したものです。

□ 当センター発行冊子のご紹介 2021年度

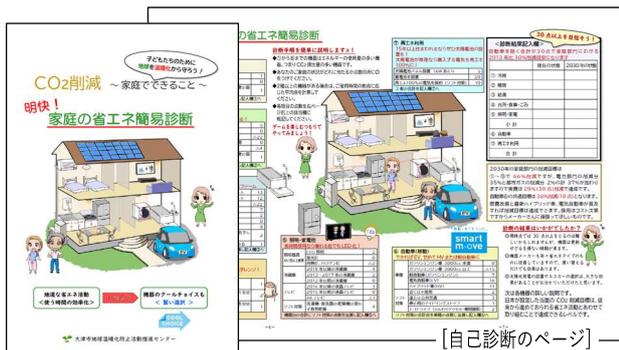
大津市地球温暖化防止活動推進センターは、2022年度、下記冊子を企画・編集し発行しました。ご希望の皆さまに無償でお渡しします(送料はご負担ください)。詳細は当センターまでお問い合わせください。

〒520-0047 大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 4F ☎ 077-526-7545 ✉ info@otsu.ondanka.net



家庭の省エネ簡易診断 2021年度版 A4判 12ページ

ご家庭の省エネ度を見える化するための小冊子です。地球温暖化の影響・気候変動の現状や対策のための数値目標、家庭での取組策；住宅設備機器の省エネ性能や使い方の工夫による効果を具体的に示しています。また、目標値に対する達成度を自己診断するための採点表を記載しています。



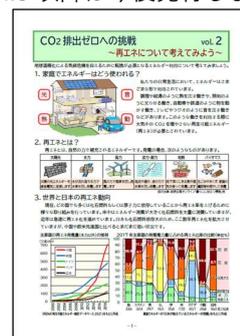
CO₂ 排出ゼロへの挑戦

Vol.1 Vol.2
各A4判4ページ

脱炭素社会に関する情報を盛り込んだ小冊子シリーズです。Vol.1「これ以上地球を壊さないために」；温暖化の現状とCO₂ 排出削減目標、排出源、部門別の対応策を概説。Vol.2「再エネについて考えてみよう」；気候危機を防止するために必須となるCO₂ を排出しない再エネ利用への転換について考えます。Vol.3以降は今後発行します。



Vol.1



Vol.2

こんにちは。イギリスにも遅い春が来ました。しかし、春になったと思っても油断できません。

イギリスは1日の中に季節がある、とよく言われますが、5分ごとに天気が変わるので、なかなか外に洗濯物を干すこともできません。晴れている、と思っても油断できないのです。どうしても洗濯物を乾かさないといけない日は、乾燥機を使ったり、ラジエーターという温水を循環させて部屋を温める暖房装置の上に置いて乾かしたり。でも、暖房を使わない季節になると難しくなります。

今イギリスで話題になっているのはエネルギーの供給です。

COP26が昨年スコットランドで行われ、そこでさらにCO₂(二酸化炭素)の削減に向け、リサイクルの強化、車社会をどうするか・・・という個人のこともそうですが、やはり化石燃料を使う発電がネックだろうと私は感じています。

私の家の近くに発電所があるのですが、石炭が広場に山積みになっています。もくもくと煙(水蒸気だと思いますが、二酸化炭素も排出しているはずですが)がでているのを見ると、個人では限界があるな、と感じてしまいます。

原子力発電はイギリス全土で5か所ほどありますが、主

力ではありません。

イギリスの気候を生かして、海上、丘の上などに風力発電機を設置しています。当初は鳥を巻き込む事故が増えるとかで、住民も猛反対をしていますが、やはり電力は何をするにしても必要なので、あまり反対を受けることもなくなってきました。政府主導でどんどん設置されています。発電機自体も当初は日本企業のブランドもよく見かけましたが、ここ5年ほどはヨーロッパブランドが改良され主流になっています。

吹くはずの「風」がこれからも吹いてくれればよいのですが、地球温暖化の影響でどうなることやら。地球人として、自然を守らなくてはと思いつつ、庭で野菜を育てています。



南イングランドの風力発電所



庭の野菜

□ イベント参加者募集 7月~9月

新型コロナウイルス感染の状況により内容変更・中止することがあります

参加ご希望の方は「イベント名」「郵便番号・住所」「参加者全員の氏名・ふりがな・児童は年齢」「日中に連絡のとれる電話番号」「メールアドレス」を書いて、開催の10日前までに当センター(下記)にお申し込みください。

<p>7月18日(祝) 9:00~ 里湖づくり シジミ復活大作戦 於:びわ湖大津館 湖辺における湖底耕耘や底生動物・水草等の生物観察を体験します。</p>	<p>7月31日(土) 10:30~、12:00~、13:30~入替制 おおつエコフェスタ 於:ピアザ淡海 多くの団体が出展する会場にて家族で楽しく環境を学習します。</p>	<p>8月6日(土) 10:00~ 自然家族事業 びわ湖の日1 湖の学校 於:びわ湖大津館 琵琶湖の生物多様性を支えるプランクトンや底生生物を採集・観察します。予備日8/7</p>	<p>9月3日(土) 10:00~ 自然家族事業 川の日2 大石川で生き物さがしをしよう 於:大石緑地スポーツ村 生き物さがしをして生き物に親しみ自然環境について考えます。予備日9/10</p>	<p>9月10日(土) 14:00~ おおつ市民環境塾 びわ湖の外来種について 於:ふれあいプラザ 甚大な影響を及ぼす外来動植物の現状と問題点を学び、私達に何ができるか考えます。</p>
---	---	--	---	---

□ 当センター主催の一般参加イベント報告 ~3月

おおつ市民環境塾 講座8
滋賀県のCO₂ネットゼロ社会づくりを考える
1月29日 ふれあいプラザ

講師:滋賀県総合企画部CO₂ネットゼロ推進課 廣田大輔氏
本文参照



参加:10人

おおつ市民環境塾 講座4
湖国・近江の森と里と湖
2月5日 ふれあいプラザ

講師:琵琶湖博物館専門学芸員 中井克樹氏
人間のふるまいによる琵琶湖への影響



参加:16人

生ごみ堆肥化研修会
堆肥と土壌そして植物栽培
2月26日 ふれあいプラザ

講師:龍谷大学農学部農場専門技術助手 吉村大輔氏
堆肥は使い方次第、土壌は生きもの



参加:25人

上記の各実施イベントの詳細は <https://otsu.ondanka.net/> または <https://eco-otsu.net/> をご覧ください。



発行
 大津市地球温暖化防止活動推進センター
 (特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム)
 520-0047 大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 4F
 Tel : 077-526-7545
 E-mail : info@otsu.ondanka.net
 HP : <https://otsu.ondanka.net/>
 編集責任: 西山 克己

メール